

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	プロジェクト3 (Project3)		
ナンバリングコード	L31203	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	コース選択必修: 環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース 選択: 建築設計コース、建築工学コース、住居・インテリアコース		
授業コード	L120301	クラス名	-
担当教員名	池畑 義人、吉村 充功、高見 大介、池見 洋明、中西 章敦		
履修上の注意、履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・本実習は昨年度の「プロジェクト2(国東班)」の取り組みを発展させた地域課題解決型の実践授業です。授業の性質上、上限は20名程度です。上限を超えた場合は、環境・地域創生コースの学生を優先します。 ・現地実習の際は、食事代・宿泊代・材料代を実費で徴収または負担してもらいます。合計で最大2万円ほどかかる見込みです。班による合計額の違いはありません。 ・地域実践として、週末を利用して複数回の日帰り及び合宿研修を予定しています。現地研修は本授業の根幹を占めるため、公欠を含めて欠席は認められません(不合格)。 ・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない現状では、地域活動日が確定できないため、後期に後ろ倒しになる可能性があります。 		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	日経ビッグデータ【編】: RESASの教科書 リーサス・ガイドブック—あの街はなぜ賑わうのか データが地方創生を加速する(日経BP)		
関連科目	プロジェクト1(地域づくり実践入門)、プロジェクト2(地域づくり実践応用)、地域再生論		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	地方の今後のあり方を考えた場合、地域の独自性や特徴を活かした地域づくり・まちづくり、地域にあった建築物の設計・施工、歴史遺産や環境の保全・再生が重要となります。本実習では、地域のステークホルダーの協力を得て、建築学における地域づくりの視点から地域活性化の実践を目的として、昨年度の「プロジェクト2(国東班)」の成果を昇華させ、年間を通じて地域の課題解決につながるプロジェクト実践を行います。チーム活動を通じて、対象地域の新しい地域のあり方、地方創生について実体験を通じて考え、地域の諸課題を建築の知識・技術を用いて実践的に解決することが目的です。						
授業の概要	<p><環境・地域創造演習></p> <p>本実習の実践活動は、国東市安岐町朝来地区を対象に行います。朝来地区は国東半島・両子寺の麓に位置する人口約700人の集落です。当地も激しい少子高齢化の波に襲われていますが、住民組織である朝来地区活性化推進協議会を中心に様々な取り組みを行っており、現地のお年寄りが生き生きとした生活を送っています。昨年度の「プロジェクト2(国東班)」の成果を昇華させ、当協議会と連携し、学生ならではの視点で地域の資源を活用したブランド化を行い、これを発信していくこと、さらに実践的な解決活動を行うことで地域の活性化につなげるプロジェクトを実践します。</p>						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「共同担当方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>PBL(プロジェクト型授業) 他</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	(3) アクティブ・ラーニング	PBL(プロジェクト型授業) 他
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	PBL(プロジェクト型授業) 他						
地域志向科目	カテゴリー I : ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目						
実務経験のある教員による授業科目	中西章敦(大分県土木建築部における大分県の道路・河川・地域づくりに関する行政)公務員としての現場経験から県内での地域課題への取り組み方を教授します。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①対象地域の課題に積極的に関わり、俯瞰的に問題を自ら発見することができる。			10点
【知識・理解】	②地域の諸課題を解決するために必要な建築の知識・技術を複合的・応用的に自ら修得できる。		15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③ステークホルダーとよいコミュニケーションを取り、地域コミュニティについて、実体験を通じた自分の言葉で説明できる。 ④自分の役割を見つけ、メンバーと協力しながらチームを動かし、チームの組織力を高めることができる。		20点	
【思考・判断・創造】	⑤対象地域の新しい地域のあり方、地方創生について、社会動向を踏まえ、実体験を通じて考え、自分の言葉で説明できる。 ⑥地域の諸課題を建築(または自身の専門分野)の知識・技術を用いて実践的に解決できる。		25点	30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<p>評価基準については、ルーブリック表を配布します。</p> <p>現地研修時のルーブリックの自己評価、事前レポート、現地調査報告書、事後レポート等を評価します(60点)。</p> <p>現地研修時のグループワークの成果発表(15点)、成果物(15点)、個人でのふり返し発表(5点)、活動への参画状況(5点)を評価します。</p>

○その他
<ul style="list-style-type: none"> ・本科目はCOC+の「おおいた共創士」認定対応科目として実施します(学生の活動時の行動をステークホルダー(企業等)が評価)。希望者は、地域づくり副専攻を3年次終了までに修了すること、3日以上インターンシップも要件となります。詳細は吉村まで確認すること。 ・ステークホルダー評価の日時は評価者の都合により、日時が変更になる場合があります。また、ステークホルダー評価者は決まり次第お知らせします。 <p>新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない現状では、地域活動日が確定できないため、後期に後ろ倒しになる可能性があります。また、大幅なプログラム変更を余儀なくされることも考えられますので、その点を承知しておいて下さい。必要に応じて、情報提供を行いますので、履修者は担当教員からのメールを受信できるように設定しておいて下さい(@nbu.ac.jpからのメール受信許可設定)。</p>

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：プロジェクト3 (Project3) 担当教員：池畑 義人、吉村 充功、高見 大介、池見 洋明、中西 章敦	授業コード：L120301
学修内容		
1. オリエンテーション 取り組みテーマ、目的、学修目標、履修条件等について詳細を説明します。		
予習：シラバスを熟読し、対象地域について調べ学習を実施して下さい。		(約1.0h)
復習：対象地域について調べ学習を実施し、地域の状況についてまとめて下さい。		(約1.0h)
2. 学内研修1-1 地域の特徴を整理する 経済産業省の地域経済分析システム「RESAS」について解説します。その後、RESAS等を使用して、国東市安岐町朝来地区を中心とした地域の特徴を整理します。		
予習：RESASについて調べて下さい。		(約2.0h)
復習：		
3. 学内研修1-2 地域の特徴を整理する 経済産業省の地域経済分析システム「RESAS」等を使用して、国東市安岐町朝来地区を中心とした地域の特徴を整理します。		
予習：調査結果をレポートにまとめて下さい。		(約2.0h)
復習：		
4. 学内研修2-1 地域の課題を整理する 経済産業省の地域経済分析システム「RESAS」等を使用して、国東市安岐町朝来地区を中心とした地域の課題を整理します。		
予習：		
復習：		
5. 学内研修2-2 地域の課題を整理する 経済産業省の地域経済分析システム「RESAS」等を使用して、国東市安岐町朝来地区を中心とした地域の課題を整理します。		
予習：調査結果をレポートにまとめて下さい。		(約2.0h)
復習：		
6. 学内研修3-1 地域に人を呼び込む方法を考える1 経済産業省の地域経済分析システム「RESAS」等を使用して、国東市安岐町朝来地区を中心とした地域に人を呼び込むための方法を考えます。		
予習：		
復習：		
7. 学内研修3-2 地域に人を呼び込む方法を考える1 経済産業省の地域経済分析システム「RESAS」等を使用して、国東市安岐町朝来地区を中心とした地域に人を呼び込むための方法を考えます。		
予習：		
復習：調査結果をレポートにまとめて下さい。		(約2.0h)
8. 学内研修4-1 地域に人を呼び込む方法を考える2 国東市安岐町朝来地区を中心とした地域に人を呼び込むための具体的な方法を議論します。		
予習：		
復習：		

○授業計画	科目名：プロジェクト3 (Project3) 担当教員：池畑 義人、吉村 充功、高見 大介、池見 洋明、中西 章敦	授業コード：L120301
学修内容		
9. 学内研修4-2 国東市安岐町朝来地区を中心とした地域に人を呼び込むための具体的な方法を議論し、現地研修の戦略を考えます。		
予習：		
復習：調査結果をレポートにまとめて下さい。		(約2.0h)
10. 第1回現地研修(宿泊)1 合宿テーマ：地域の魅力と課題を確認し、課題解決策を整理する。 オリエンテーション：目的・実施内容等説明、事前シートの記入。		
予習：		
復習：		
11. 第1回現地研修(宿泊)2 フィールドワーク①：グループ毎に集落での現地見学、聞き込み。		
予習：		
復習：		
12. 第1回現地研修(宿泊)3 ワークショップ①：地区住民との意見交換会。		
予習：		
復習：		
13. 第1回現地研修(宿泊)4 フィールドワーク②：地区交流会参加、参加者への聞き込み。		
予習：		
復習：		
14. 第1回現地研修(宿泊)5 フィールドワーク③：地区交流会参加、参加者への聞き込み。		
予習：		
復習：		
15. 第1回現地研修(宿泊)6 ワークショップ③：チーム毎に初日の整理、課題解決策の具体策の立案。ステークホルダー評価(共創士対象者)。		
予習：		
復習：		
16. 第1回現地研修(宿泊)7 プレゼンテーション・まとめ：チーム毎に2日間の成果まとめの発表。ステークホルダー評価(共創士対象者)。 ふり返り、次回までの課題等の連絡。		
予習：		
復習：これまでの研修内容について、まとめて下さい。		(約2.0h)

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科目名：プロジェクト3 (Project3) 担当教員：池畑 義人、吉村 充功、高見 大介、池見 洋明、中西 章敦	○授業計画 科目名：プロジェクト3 (Project3) 担当教員：池畑 義人、吉村 充功、高見 大介、池見 洋明、中西 章敦
学修内容	学修内容
<p>17. 学内研修5-1 課題解決に向けた準備をする1 第1回現地研修を踏まえて、課題解決策の具体策を整理する。今後の工程、分担を考える。</p> <p>予習： 復習：</p>	<p>25. 第2回現地研修(宿泊)1 合宿テーマ：課題解決に向けた活性化策を実践する。 フィールドワーク①：各班に分かれて最終準備。ステークホルダー評価(共創士対象者)。</p> <p>予習：本番に向けた目標設定を行って下さい。(約2.0h) 復習：</p>
<p>18. 学内研修5-2 課題解決に向けた準備をする1 課題解決に向けて、具体的な製作等を行う。</p> <p>予習： 復習：製作物について製作を行って下さい。(約4.0h)</p>	<p>26. 第2回現地研修(宿泊)2 フィールドワーク②：実践活動。ステークホルダー評価(共創士対象者)。</p> <p>予習： 復習：</p>
<p>19. 学内研修6-1 課題解決に向けた準備をする2 引き続き、課題解決に向けて、具体的な製作等を行う。</p> <p>予習： 復習：</p>	<p>27. 第2回現地研修(宿泊)3 フィールドワーク③：実践活動。</p> <p>予習： 復習：</p>
<p>20. 学内研修6-2 課題解決に向けた準備をする2 引き続き、課題解決に向けて、具体的な製作等を行う。 中間発表。</p> <p>予習： 復習：製作物について製作を行って下さい。(約4.0h)</p>	<p>28. 第2回現地研修(宿泊)4 フィールドワーク④：実践活動。</p> <p>予習： 復習：</p>
<p>21. 学内研修7-1 課題解決に向けた準備をする3 引き続き、課題解決に向けて、具体的な製作等を行う。</p> <p>予習： 復習：</p>	<p>29. 第2回現地研修(宿泊)5 フィールドワーク⑤：地区交流会参加、参加者との交流による聞き込み。</p> <p>予習： 復習：</p>
<p>22. 学内研修7-2 課題解決に向けた準備をする3 引き続き、課題解決に向けて、具体的な製作等を行う。 中間発表。</p> <p>予習： 復習：製作物について製作を行って下さい。(約4.0h)</p>	<p>30. 第2回現地研修(宿泊)6 まとめ：ふり返り、成果のふり返りについての発表、レポート記入。ステークホルダー評価、フィードバック(共創士対象者)。</p> <p>予習： 復習：これまでの研修内容についてふり返り、個人での提案内容をレポートにまとめて下さい。(約2.0h)</p>
<p>23. 学内研修8-1 課題解決に向けた準備をする4 引き続き、課題解決に向けて、具体的な製作等を行う。</p> <p>予習： 復習：</p>	<p>31.</p> <p>予習： 復習：</p>
<p>24. 学内研修8-2 課題解決に向けた準備をする4 第2回現地研修に向けた最終確認を行う。</p> <p>予習： 復習：製作物について製作を行って下さい。</p>	<p>32.</p> <p>予習： 復習：</p>